

### 中学生議会

8月5日(金)、揖斐川町役場議場で、中学生議会が行われました。町内4校の代表19人が議員になり、町政について一般質問や提言を行いました。

前半は、「学校の誇りに関わる提言」として学校での取り組みを発表しました。

後半は、「揖斐川町をより発展させるための町への質問や提言」があり、中学生ならではの活発な提言や要望が出ていました。

答弁をした宗宮町長は、「町を思う心を感じることができた。今日の提言もふまえて第2次総合計画を推進したい」と括り、議長を務めた揖斐川中学校3年の白川夏穂<sup>しろがわなつほ</sup>さんは議事を振り返り、「揖斐川町民としての誇りをもって、今日の経験を今後に生かしていきたい」と話しました。



▲中学生議員の皆さん

### いび幼稚園で 手作りすいぞくかん

いび幼稚園の年長組のおおぐみが、夏を感じさせる水族館を制作しました。

この水族館は、7月9日(土)に行われた夏祭りに向けて、子どもたちがテーマを決め、ひとりひとりの豊かな想像力で日々作り上げられました。



▲幼児たちによるすいぞくかん

壁一面に段ボールを貼り、大小にくり抜いた穴からは廃材を利用して作った魚や、カメ・タコなど海の生き物が所狭しと飾られ、楽しい水族館が出来上がりました。

特に目を引いたのは、大きなジンベエザメで、雰囲気盛り上げていました。

子どもたちは、出来上がった作品を見て、「大阪の海遊館みたい!」と喜んでいました。

### 小学生県外研修派遣認定式 〜芽室町、宿毛市で交流〜

7月5日(火)、揖斐川町役場で小学生県外研修派遣事業の認定証交付式が行われました。

今年度の研修に参加する児童は、町内小学生20人で、研修先は、友好都市提携を結んでいる北海道芽室町<sup>めむろ</sup>と地域に開かれたダム全国連絡協議会などで交流を深めている高知県宿毛市です。

児童らは、北海道の大規模農業や高知県の漁業などを体験して、現地の人々と交流し、見聞を広めます。



▲認定証をうけとる児童

派遣団の児童は「研修で得た体験を町のためにいかしたい」「揖斐川町のよさを県外の人に伝えたい」とやる気に満ち溢れていました。

派遣団は、8月19日(金)から23日(火)の日程で研修を行います。

### 北海道芽室町の児童が 揖斐川町で研修

揖斐川町と友好都市提携を結んでいる北海道芽室町の小学生11人が、7月26日(火)から7月28日(木)にかけて町を訪れ、研修を行いました。

27日(水)には、春日貝原棚田で草木染めを体験したり、上ヶ流茶畑を見学するなどして揖斐川町の文化や自然に触れました。

また、28日(木)には揖斐小学校を訪れ、お互いの町や学校の特色を発表して交流しました。

また、ほかにも桂茶販売所でおいしいお茶の入れ方を学ぶなど、揖斐川町を満喫しました。

訪れた児童は「芽室と同じで雪が多いのに屋根の形が違う」「揖斐川町には神社がたくさんある」と話していました。



▲おいしいお茶の入れ方を体験する児童

森林・環境税を活用した  
小学校野外学習活動を実施

揖斐川町では、平成24年度から「清流の国ぎふ森林環境税」を活用した「いびがわキッズ探検隊」事業を実施しています。



清流の国ぎふ

6月22日(水)から23日(木)にふじはし星の家で、揖斐小学校の5年生32人が、野外学習活動を実施しました。一日目は、オリエンテーリングと箸作り、火おこし体験を、二日目は飯ごう炊さんとカレー作りをしました。

ひのきの間伐材を使った箸作りでは、見本の箸の手触りに近づけるため、紙やすりで根気よく削って、何度もチエックしてもらいました。よい作品を作るためには、こだわりをもって粘り強く取り組むことが大切だということ、児童は実感しました。



▲丁寧に木を削って箸作り

この事業は、町内小中学校の野外学習活動を対象としています。豊かな自然の中での体験活動を通して、自然の恵みを再確認することができました。

揖斐高等学校で  
サマースクールが行われました

7月26日(火)から29日(金)の4日間、揖斐高等学校で「サマースクール」が開催されました。

これは、連携型中高一貫教育の取り組みの一つとして、町内の全中学校3年生希望者を対象として、生徒が高校入試に向けて意識を切り替えるきっかけとなると共に、揖斐川町の生徒の学力向上につながるよう企画されたものです。

4日間に延べ188人の生徒が参加し、国語・社会・数学・理科・英語の指導を高等学校等の先生から受けました。

問題の解き方やポイントについて、丁寧に解説を受け、中学校での学習の復習を行いました。生徒は高校入試に向けて気持ちを新たにしていました。



▲理科の解説を受ける生徒ら

六次産業化・地産地消法に基づく  
総合化事業計画認定証交付式

7月15日(金)、揖斐川町役場で「六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画」の認定証交付式が行われました。

今回、農林水産省東海農政局から、谷汲地域でシカ・イノシシの狩猟、解体、精肉販売まで行うジビエ産業に取り組む「株式会社キサラエフアールカンパニーズ」の事業計画が認定されました。

キサラエフアールカンパニーズは、ジビエ料理が楽しめるレストランをオープンさせ、「ぎふジビエ」のブランド化に取り組んでいます。

認定証を受け取った所社長は「揖斐川町には、豊富な資源がたくさんある。それを地域活性化に生かしたい」と話しました。



▲左から原支局長、所社長、宗宮町長

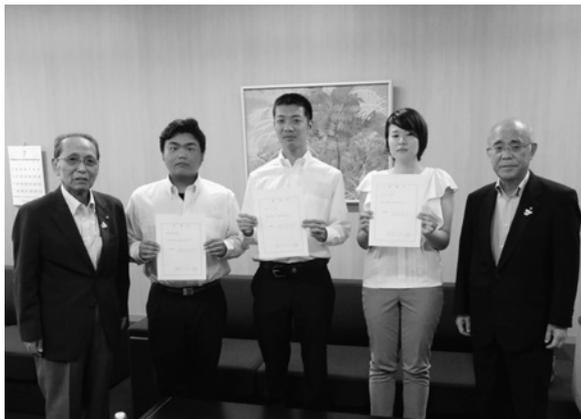
地域おこし協力隊員委嘱式

7月30日(土)、地域交流センター「はなもも」で、揖斐川町地域おこし協力隊員の委嘱式が行われました。

人口減少や高齢化が進む揖斐川町で、地域の魅力を再発見し、活性化につなげるため、意欲ある都市住民を誘致し、揖斐川町地域おこし協力隊として、地域の振興に取り組んでいただきます。

今回、隊員に委嘱されたのは、次の3人です。

- 富野真樹さん
- 永田矩之さん
- 石樽小雪さん



▲左二番目から富野さん、永田さん、石樽さん

叙勲（瑞宝双光章）受章

7月7日（木）、瑞宝双光章の受章者に宗宮町長から伝達が行われました。

■瑞宝双光章  
清水 明さん（坂内広瀬）

清水さんは、昭和62年4月から旧坂内村議会議員として、16年間在職され、農業振興や観光振興等旧坂内村の発展に尽くされました。

また、昭和25年10月から昭和62年3月まで36年6カ月の長きに亘り、坂内村中学校および小学校の教諭として勤務され、同村の教育振興に尽力されました。



▲受章された清水さん（右）

岐阜県公安委員会から感謝状受賞

7月8日（金）、岐阜県警察本部で、高橋 努さん（乙原）が感謝状を受賞しました。

この感謝状は長年、警察活動に協力された団体、個人に対して贈られるものです。



▲感謝状を受賞された高橋 努さん

高橋さんは、平成6年から20年間、交通安全協助隊を務め、久瀬地区の道路でドライバーに安全運転を呼びかけるなど、地域の交通事故防止に尽力されました。  
今後、地域の交通安全のために働きかけていくそうです。

第17回久瀬花き品評会

7月28日（木）久瀬公民館で久瀬花き生産組合主催による第17回久瀬花き品評会が開催されました。

小菊35点、しきみ45点が出品され、色や形、つや、商品性などを基準に審査した結果、岐阜県知事賞は小菊を出品した山本友之さんが受賞されました。

そのほかの入賞者は次のとおりです。

■切花の部（小菊）

金賞（町長賞） 村瀬 佐一さん

銀賞（岐阜生花市場協同組合理事長賞） 長屋 たつよさん

銅賞（いび川農業協同組合長賞） 増元 正吾さん

奨励賞 河合 三郎さん

■枝物の部（しきみ）

金賞（議長賞） 高橋 努さん

銀賞（掛斐農林事務所長賞） 高橋 時江さん

銅賞（久瀬花き生産組合長賞） 村瀬 佐一さん

奨励賞 矢野 哲郎さん



▲県知事賞に選ばれた小菊

第2回地域交流センター成人講座  
「減災教室」

7月30日（土）、地域交流センター「はなもも」で、岐阜大学の高木朗義教授を講師に迎え、第2回地域交流センター成人講座が行われました。

今回のテーマは「減災教室〜自助・共助をわかるからできるへ〜」で、公民館関係者等約400人が参加しました。

講義では、参加者が減災力テストを行い、減災への意識を確認した後に「自分の命は自分で守ること」「災害時の対応から事前の備えを大切にすること」など、減災のために知っておくべきことが話されました。



▲減災力テストを受ける参加者ら

講義の最後には、防災の情報入手の方法についての質問が出されるなど、減災への実際の行動が意識されました。

## 夜叉ヶ池伝説道中まつり

7月23日(土)、坂内遊らんど内特設会場で、夜叉ヶ池伝説道中まつりが開催されました。

このまつりは、約1200年前から伝わる夜叉ヶ池伝説を再現する創作音楽劇をメインイベントとして、ステージでは、長浜市湖北地域のアイドルユニット「キャンセ浜姫」のショーや「鼓國雷響JAPAN」の太鼓演奏などが行われ、祭りを盛り上げていました。夜叉ヶ池伝説は、美濃の国神戸(現在の神戸町)の郡司が、恵みの雨の返りに娘を夜叉ヶ池にすむ龍神に嫁がせたという物語です。地元の人たちが出演する創作音楽劇「夜叉ヶ池物語」のクライマックスシーンでは全長21メートルの龍神が現れ、夏の夜に幻想的な伝説が蘇りました。



▲壮大な音楽劇のクライマックス

## 夜叉ヶ池伝説マラニック

7月23日(土)と24日(日)の2日間、夜叉ヶ池伝説になぞらえて、夜叉姫ゆかりの神戸町から坂内の夜叉ヶ池までを往復する「夜叉ヶ池伝説マラニック」が開催されました。

コース延長が13.5kmという過酷な極めたこの大会には、今年も全国から約360人の参加者がありました。初日の23日は、神戸町役場をスタートして揖斐川沿線を走り、坂内の道中まつりの会場を目指しました。二日目は、早朝に坂内交流センターを出発して夜叉ヶ池までの山道を駆け登り、折り返して神戸町役場を目指しました。

初日ゴールの道中まつりの会場では、祭りの訪れた人々が、会場内に入ってくる参加者を温かい拍手で迎えました。



▲手をつないで仲良くゴール

## いびがわの祭り ～華やかに咲くありがとうの大輪～

8月7日(日)、いびがわの祭りが開催されました。

町内各地では、朝から商工会各支部によるバザー等が行われ、揖斐川町役場では、復興支援「熊本物産展」もあり、「屋台村」は多くの人で賑わい、役場町民ホールには、チームおじまによる「こよみのよぶね」が展示され、祭りを彩りました。今年製作された「こよみのよぶね」は、熊本を支援し、防災のシンボルになるようにと、漢数字で九州の「九」をかたどり、熊本城がデザインされました。

祭りの最後は、揖斐川の水の恵みに感謝する「ありがとう花火大会」では、町民のみなさんの願いや感謝がこめられた6500発の花火玉が打ち上げられました。読み上げられたメッセージやクライマックスの水上花火では歓声があがり、訪れた多くの方を魅了していました。



▲防災のシンボル「こよみのよぶね」

町民の皆さんが催された祭りの最後には、皆さんの思いが華やかに大輪となり、町全体の賑わいを感じられた夏の一日でした。



▲クライマックスの水上花火(右)



▲熊本物産展もあり賑わった屋台村